R7学校教育目標『心豊かに 創造する』
重点目標『認め合い　共に挑戦しよう』

つきやま

地域とともに 152 年目
伊豆の国市立韮山小学校
令和８年１月発行　第９号

今年は、丙午
成長・飛躍の年です！！

「その時」

校長　内田　繁樹

１月 16 日（金）正面玄関横の河津桜が一輪、少し恥ずかしそうにピンクの花を咲かせていました。それから週が明けての月曜日には、４～５輪と仲間が増え、現在は、今か今かと順番を待つように、先が色づいてまるく膨らんだつぼみが、枝を賑わわせています。氷が張るほどの寒さの中ですが、春が近づいてきていることを感じます。

さて、同じ桜のソメイヨシノの開花を予想するのに「600 度の法則」というものがあるそうです。２月１日から日々の最高気温を足して 600 度になる頃に開花するというものです。何年も地中の中にいる蝉も七夕の前後には夏を告げる声を上げ、お彼岸の頃には、河川敷などに彼岸花が並んで咲き…と、季節ごとに生き物ごとに適切な「時季」があるものだと改めて感じます。

「じき」という言葉には、「時期」と書くものもあります。こちらは、“一定の期間や、その時”を表す言葉です。今年度の学びも残り 30 日あまりになりました。６年生は、中学校進学に向けて、学習の面でも、意識づくりの面でもその時期に入っています。５年生は、韮っ子のリーダーとしての自覚を高める時期に入っています。１年生から４年生もそれぞれの学年のまとめと新たな学年に向けての準備の時期に入っています。

どの学年も様々な活動を通して、４月から大きな成長を見せています。一方、一人ひとりを見ると学力の面や生活・気持ち面で差も見られます。成長の時期には、個人差があります。小さな社会である小学校では、多様な関わりの中で成長のヒントを得られたり、前向きな気持ちをもてたり、個人差を支え合ったりして個や全体の成長につなげていきます。大人の役割は、適切な環境を整え、子供が主体的にがんばろうとする時期を見逃さないこと。良さを認めほめてあげることです。必要に応じて指導することも大切ですが、認められ・ほめられることは、子供たちの自己肯定感につながり、がんばる気持ちを高めます。その子にとって、また、学級・学年にとっての“その時”に学校、家庭、地域で連携して同じ方向を向いて支援していければ子供たちのよりよい成長につながると思います。

今年は、60 年に一度の丙午の年です。「丙」も「午」もどちらも火の性質をもち、勢いがあり成長や飛躍が期待できる年と言われています。未来を担う韮っ子たちが、大きく飛躍できるように、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いします。

※右の写真は、卒業式に飾る花を育てようと、子供たちが苗を植え、水をあげている場面です。
韮っ子には、優しい気持ちをもった素敵な子供たちが、たくさんいます！！